

衛研第2 - 50号
平成30年 3月14日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. インフルエンザウイルス検出情報
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成30年第10週（平成30年3月5日～平成30年3月11日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E型肝炎1人、レジオネラ症2人の届出があった。五類感染症は、ウイルス性肝炎1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症5人、梅毒3人、百日咳2人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.36 3.58：図1)の定点当たり報告数は前週よりわずかに増加した。保健所別では、川口(7.41)、春日部(5.67)保健所管内で多い状況が続いている。**RSウイルス感染症**(0.41 0.44：図2)の定点当たり報告数は、前週と同水準であったが、過去4年の同時期より高い水準である。保健所別では、加須(0.67 2.00)、川口(0.65 1.18)保健所管内で大きく増加した。**インフルエンザ**(14.61 8.39：図3、4)の定点当たり報告数は前週より減少し、県全体では警報終息基準値(10.00)を下回ったが、幸手(12.43)、熊谷(10.64)保健所管内では多い状況である。第7～10週の4週間(2月12日～3月11日)に採取されたインフルエンザ検体からは、B型(山形系統)が76件(58.9%)、AH3型が50件(38.8%)、AH1pdm09型が3件(2.3%)検出されている。**感染性胃腸炎**(5.98 5.75)の定点当たり報告数は、前週と比較し同水準であった。保健所別では、川口(13.24)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎**16人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎**2人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)**1人、**インフルエンザ(入院)**13人の報告があった

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし(結核を除く)
三類感染症	報告なし
四類感染症	E型肝炎 1人(推定感染地域 国内)
	レジオネラ症 2人(病型 肺炎型 2人)
五類感染症	ウイルス性肝炎 1人(病型 C型)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人(血清群 A群)
	侵襲性肺炎球菌感染症 5人
	梅毒 3人(病型 早期顕症 期 1人、 無症状病原体保有者 2人)
	百日咳 2人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

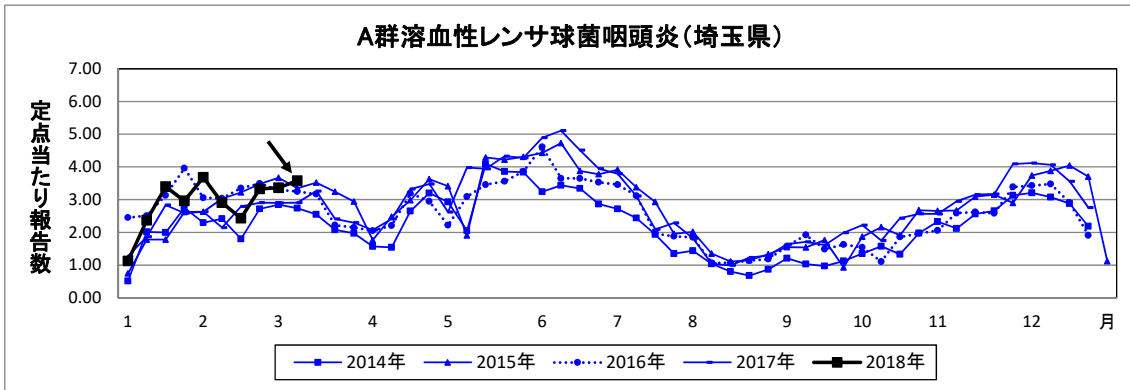


図2 RSウイルス感染症

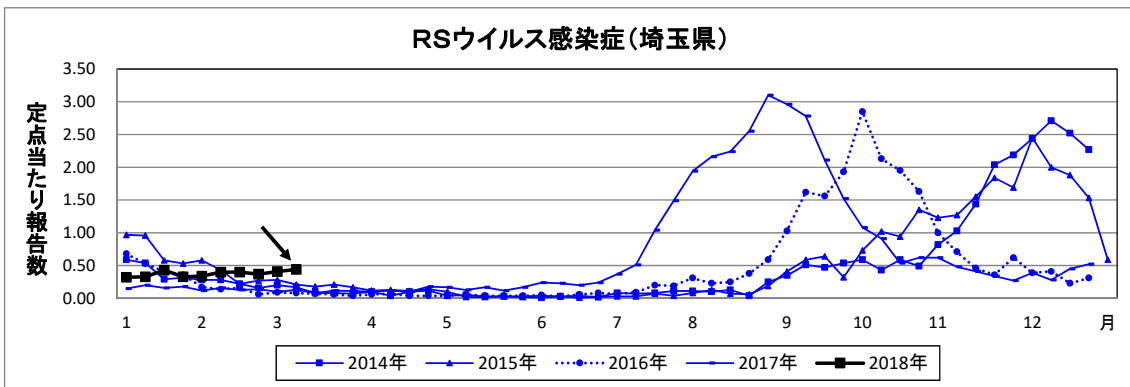
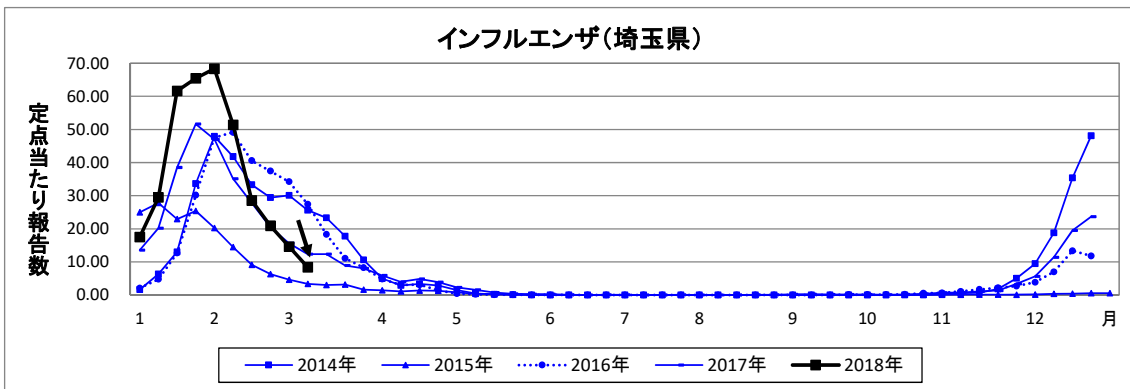


図3 インフルエンザ



<インフルエンザウイルス検出情報>

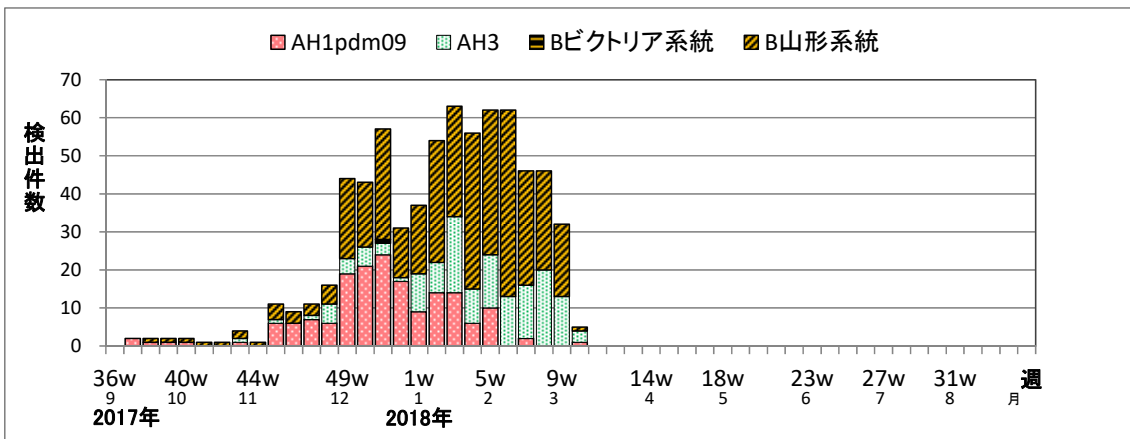


図4 AH1pdm09、AH3、B（ビクトリア系統、山形系統）の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第10週)

(2018年3月13日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2017年 累計		今週 届出	累 計	2017年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1301	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ		1		腸チフス		1	3
細菌性赤痢		3	7	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		5	246				
四類感染症							
E型肝炎	1	5	19	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	12	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			1
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア		1	1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	2	8	99
つつが虫病		1	2	レプトスピラ症			2
デング熱			12	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		8	53	水痘*		1	12
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	1	11	先天性風しん症候群			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	11	57	梅毒	3	24	234
急性脳炎		12	45	播種性クリプトコックス症		1	3
クリプトスポリジウム症				破傷風			2
クロイツフェルト・ヤコブ病				バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			12
後天性免疫不全症候群		4	35	百日咳	2	38	-
ジアルジア症				風しん		2	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	21	麻しん		4	5
侵襲性髄膜炎菌感染症				薬剤耐性アシネトバクター感染症		2	8
侵襲性肺炎球菌感染症	5	37	130				
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計		1		

累計は診断日で集計
*2017年累計は暫定値です。
*結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2月分)

2月の届出総数は、患者42人、疑似症患者3人、無症状病原体保有者29人の計74人で、患者数は前月の50人より減少し、前年同月の77人と比較しても少なかった。無症状病原体保有者数は前月より増加し、前年の同月と同水準であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2017年2月～2018年2月)

	2017年*												2018年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計**	
総計	105	109	100	120	115	109	119	107	123	94	100	68	74	142	
年齢階級															
10歳未満	2	2	4	5	2	4	6	8	3	1	3	4	0	4	
10歳代	1	5	0	3	0	1	5	1	5	5	1	4	2	6	
20歳代	8	7	10	9	9	11	9	8	13	5	16	8	13	21	
30歳代	5	6	7	14	8	9	5	11	8	9	10	3	9	12	
40歳代	15	12	7	13	8	12	16	13	20	9	9	8	6	14	
50歳代	6	10	13	8	14	11	7	13	16	16	12	8	8	16	
60歳代	21	18	12	19	20	12	15	13	15	6	9	7	7	14	
70歳代	18	26	18	18	22	23	18	18	17	21	17	13	15	28	
80歳以上	29	23	29	31	32	26	38	22	26	22	23	13	14	27	
性															
男	62	67	64	75	67	64	63	49	65	47	53	40	43	83	
女	43	42	36	45	48	45	56	58	58	47	47	28	31	59	
類型															
患者	77	77	69	89	80	83	76	56	66	53	57	50	42	92	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	3	4	
無症状病原体保有者	28	31	31	31	35	25	43	50	55	40	42	17	29	46	
病型															
肺結核	58	57	52	63	66	62	52	48	51	41	41	34	33	67	
肺結核及びその他の結核	4	6	6	8	4	3	8	2	3	2	1	7	4	11	
その他の結核	15	14	11	18	10	18	16	6	12	10	15	9	5	14	
疑似症患者	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	3	4	
無症状病原体保有者	28	31	31	31	35	25	43	50	55	40	42	17	29	46	

*:2017年の届出数は暫定値

** :2018年1月からの累積届出数

2月に診断された74人を病型別にみると、肺結核は10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から計33人の報告があった。無症状病原体保有者は、10歳未満及び80歳以上を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2018年2月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	33	4	5	3	29	74
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	2	2
20歳代	3	0	0	1	9	13
30歳代	4	0	0	0	5	9
40歳代	4	0	0	0	2	6
50歳代	3	0	0	0	5	8
60歳代	1	0	1	1	4	7
70歳代	7	1	4	1	2	15
80歳以上	11	3	0	0	0	14

全国・関東情報

第8週 (2月19日～2月25日)

平成30年3月14日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(43.91)、高知県(32.27)、北海道(31.29)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,253例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(41例)、1～9歳(195例)、10代(51例)、20代(13例)、30代(19例)、40代(28例)、50代(45例)、60代(118例)、70代(237例)、80歳以上(506例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の報告数は1,141例と横ばいであった。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.05)、富山県(0.90)、熊本県(0.80)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.58)、石川県(6.17)、山形県(5.70)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(14.86)、宮崎県(10.00)、広島県(9.06)である。水痘の定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.59)、長崎県(0.50)、鹿児島県(0.47)である。手足口病の定点当たり報告数は第4週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.78)、長崎県(0.73)、山梨県(0.50)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.30)、鳥取県(0.26)、神奈川県(0.23)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.83)、鹿児島県(0.69)、群馬県(0.50)である。

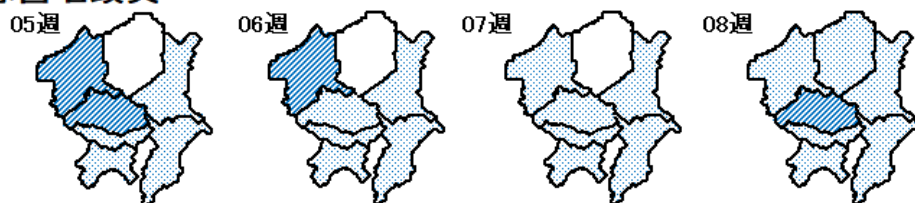
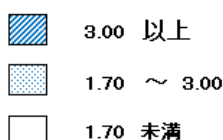
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.83)、秋田県(0.75)、青森県(0.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第4週以降増加が続いている。26都道府県から125例報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～4歳(76例)、5～9歳(31例)、10代(4例)、60代(2例)、70歳以上(4例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第8週(2月19日～2月25日): 通巻第20巻 第8号 より

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(3.33)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成30年 08週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 112,070 定点当たり 22.64	29,570 19.48	2,600 21.67	1,422 18.71	1,979 22.49	5,374 20.91	4,733 22.12	6,963 16.82	6,499 18.62
RSウイルス感染症	報告数 1,141 定点当たり 0.36	228 0.24	22 0.29	9 0.19	9 0.17	60 0.37	22 0.16	55 0.21	51 0.23
咽頭結膜熱	報告数 901 定点当たり 0.28	164 0.17	22 0.29	9 0.19	25 0.46	35 0.21	15 0.11	40 0.15	18 0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 8,396 定点当たり 2.65	2,464 2.58	204 2.72	83 1.73	147 2.72	542 3.33	402 2.98	677 2.59	409 1.87
感染性胃腸炎	報告数 15,217 定点当たり 4.81	4,253 4.45	279 3.72	118 2.46	247 4.57	842 5.17	527 3.90	1,290 4.94	950 4.34
水痘	報告数 676 定点当たり 0.21	232 0.24	12 0.16	10 0.21	14 0.26	57 0.35	41 0.30	53 0.20	45 0.21
手足口病	報告数 341 定点当たり 0.11	40 0.04	4 0.05	1 0.02	4 0.07	2 0.01	1 0.01	8 0.03	20 0.09
伝染性紅斑	報告数 198 定点当たり 0.06	88 0.09	2 0.03	3 0.06	1 0.02	8 0.05	6 0.04	18 0.07	50 0.23
突発性発しん	報告数 999 定点当たり 0.32	312 0.33	10 0.13	13 0.27	19 0.35	57 0.35	39 0.29	93 0.36	81 0.37
ヘルパンギーナ	報告数 43 定点当たり 0.01	9 0.01	-	-	-	3 0.02	1 0.01	3 0.01	1 0.00
流行性耳下腺炎	報告数 460 定点当たり 0.15	109 0.11	6 0.08	4 0.08	27 0.50	16 0.10	13 0.10	20 0.08	23 0.11
急性出血性結膜炎	報告数 10 定点当たり 0.01	5 0.02	-	-	1 0.07	3 0.07	1 0.03	-	-
流行性角結膜炎	報告数 420 定点当たり 0.60	163 0.78	16 0.94	15 1.25	12 0.80	15 0.37	11 0.31	12 0.32	82 1.64
細菌性髄膜炎 #2	報告数 14 定点当たり 0.03	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	3 0.04	-	-	-	2 0.20	-	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 61 定点当たり 0.13	10 0.12	3 0.23	1 0.14	2 0.22	1 0.10	-	3 0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数 2 定点当たり 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 125 定点当たり 0.26	8 0.10	-	1 0.14	3 0.33	-	1 0.11	1 0.04	2 0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2018年 > 感染症の流行状況 2018年 第10週

感染症発生動向調査 2018年

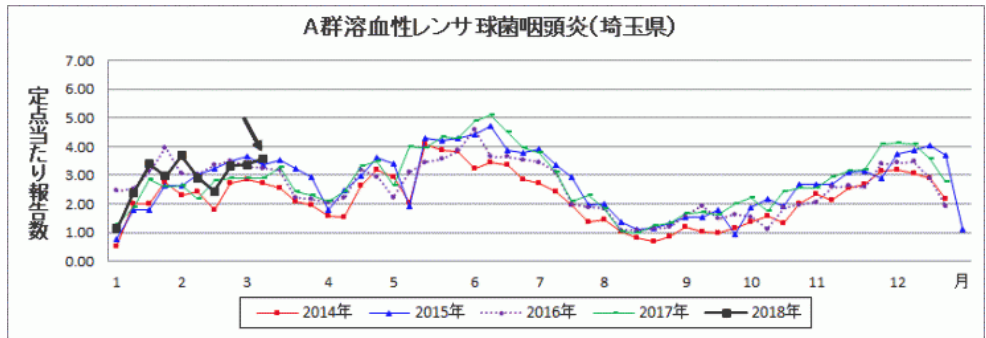
- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第9週](#)

感染症の流行状況 2018年 第10週

2018年第10週（平成30年3月5日～3月11日）の要点 平成30年3月14日

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン